

<u>クラス :</u>	<h1 style="color: red;">上級英文法</h1> <h2 style="color: red;">EGrS-31/10H</h2>
<u>曜日 :</u>	<b>Wednesday</b>
<u>時間 :</u>	<b>13 :30-15 :20</b>
<u>レベル :</u>	<b>上級</b>
<u>講師 :</u>	<b>Ms.大石美幸</b>
<u>目的 :</u>	中級文法ではカバーしきれない箇所にあえて踏み入り、違う角度から従来の文法学習に迫ることで上達を図ります。
<u>授業内容 :</u>	<p>英文法のバイブル <i>Grammar in Use</i> シリーズの上級本を使い学んでいきます。目次の並び自体は、シリーズ共通（動詞の時制、法助動詞、仮定法、態、可算不可算名詞、冠詞、限定詞、関係節、形容詞・副詞、接続詞・前置詞、句動詞）ですが、その順番通りに学ぶのではなく、中級までの履修では網羅されないながらも気になる点を、上記各分野全体の中から選り抜くかたちで学んでいきます。</p> <p>例：- if 節を使わない仮定法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 先行詞のない関係節-</li> <li>- very など程度の副詞を付けられない形容詞</li> <li>- a/an, the 以外の冠詞（ゼロ冠詞）</li> <li>- 形容詞や関係節以外の名詞の修飾の仕方</li> <li>- 分詞構文の実用的な使い方</li> <li>- 人称代名詞以外の代名詞 :one/ones ; 再帰代名詞(-self, -selves)</li> <li>- 英語における接続法</li> </ul> <p>他の In Use シリーズと同様、見開き左ページの解説で理屈をおさえ、右ページで練習をする仕組みは変わりません。上級事項であっても、「知る英語」ではなく、「使える英語」、「実際に使う英語」として身につけていくことを目標に、豊富な練習問題と音読を重ねていきます。</p>

<u>教材</u> :	<i>Advanced Grammar in Use</i> , 3rd edition; Cambridge University Press
<u>備考</u> :	「中級の域にさえ達しているとは言えない」、「自信がない」、「周りから遅れをとるのでは」などの心配の声を想像しますが、時には思い切って難しいコースをとることで展望が開けることもあります。それがよい刺激や自信となり、万年中級レベルからのよい打開策にもなると考えられます。